

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日： 2026年02月28日

事業所名：児童発達支援 ことばと発達のサポートGLOBALKIDS

対象人数（保護者）30人 回答者数 21人

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	4		4	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18			3	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16			5	
適切な支援の提供	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18			3	
	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21				
	6 事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18			3	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	21				
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	1			
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21				
	10 事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21				
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	15			6	
	保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21			
		13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21			
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング（※5）等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		12	3		6	
15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。		17		1	3	
16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		18			3	
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。		21				
18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。		21				
非常時等の対応	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21				
	20 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21				
	21 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7			14	
	22 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21				
	23 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10		1	10	
	24 こどもは安心感をもって通所していますか。	21				
満足度	25 こどもは通所を楽しみにしていますか。	21				
	26 事業所の支援に満足していますか。	21				

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「児童発達支援計画(個別支援計画)」は、児童発達支援を利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、

総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。

保護者等向け 保育所等訪問支援評価表

公表日：2026.2.28

事業所名：保育所等訪問支援 ことばと発達をサポートGLOBALKIDS

対象人数（保護者）36人 回答者数 19人

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	9	6	
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	8	4	
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	14	5	
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	13	5	
	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	12	6	
適切な支援の提供	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	5	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）（※1）が作成されていると思いますか。	14	5	
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	12	2	
	9 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	2	
	10 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	13	1	
保護者への説明等	11 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	5	
	12 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	6	
	13 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング（※2）等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	10	6	
	14 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	13	6	
	15 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	4	
	16 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	5	
	17 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	6	
	18 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	5	
	19 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	13	3	
	20 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	12	3	
	21 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	11	7	1
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	5	
	23 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。。	12	2	
	24 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	5	
	満足度	25 こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	13	5
	26 事業所の支援に満足していますか。	14	5	

※1 「保育所等訪問支援計画（個別支援計画）」は、保育所等訪問支援を利用する個々のこどもについて、将来に対する見通しを持った上で、その有する能力、訪問先の日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、「利用児と家族の生活に対する意向」、「総合的な支援の方針」、「長期目標」、「短期目標」、「支援目標及び具体的な支援内容等」（「支援目標」、「支援内容」、「達成時期」、「担当者・提供機関」、「留意事項」）を記載する計画のことで、これは、保育所等訪問支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得る

※2 「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。

-

わからない
4
7
1
1
5
4
5
3
3
3
4
5

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日： 2026年02月28日

事業所名：放課後等デイサービス ことばと発達のサポートGLOBALKIDS

対象人数（保護者）9人 回答者数 5人

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5			
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	5			
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5			
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5			
	6 事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5			
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	5			
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5			
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5			
	10 事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5			
	11 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5			
	12 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5			
	13 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング（※5）等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2		3	
保護者への説明等	14 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	5			
	15 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2		3	
	16 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5			
	17 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5			
	18 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3		2	
	19 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5			
	20 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2			2
	21 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5			
	22 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5			
満足度	23 子どもは安心感をもって通所していますか。	5			
	24 子どもは通所を楽しみにしていますか。	5			
	25 事業所の支援に満足していますか。	5			

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、子ども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3 「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの障害の特性やその特性を踏まえた子どもへの関わり方を学ぶことにより、子どもの行動変容することを目標とします。

事業所名

ことばの発達サポートGLOBALKIDS 2nd

支援プログラム(児童発達支援)

作成日

令和8年

4月

27日

法人(事業所)理念		子どもたちを通して、地域に貢献!みんなと笑顔で過ごす						
支援方針		子どもたちの気持ちを受け止め、「ほめて・みとめて・はげまして」						
営業時間		9時	30分	13時	30分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容								
本人支援	健康・生活	構造化による生活環境/健康状態の維持・改善/生活習慣や生活リズムの形成/基本的生活スキル獲得						
	運動・感覚	姿勢と運動・動作の基本的技能の向上/姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用/身体の移動能力の向上/保有する感覚の活用/感覚の特性への対応						
	認知・行動	感覚や認知の活用/知覚から行動への認知過程の発達/行動障害への予防及び対応等/数量・大小・色などの習得						
	言語 コミュニケーション	言語の活用と形成/指差し、身振り、サイン等の活用//言語に特性がある児への配慮						
	人間関係 社会性	集団参加への支援/情緒の安定/他者との関わりの形成/遊びを通じた社会性の発達/自己の理解と行動の調整						
家族支援		子育ての困りごとへの相談援助/アタッチメントの安定/障害の特性に配慮した家庭環境の整備			移行支援		保育所等への移行支援/他事業所と併行利用している場合における連携/地域とのつながり取組/ライフステージの切替えを見据えた将来的な移行に向けた準備	
地域支援・地域連携		保育所・幼稚園・療機関等との情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助等の取り組み			職員の質の向上		事業所内研修/外部研修・島外出張・施設見学	
主な行事等		夏の水遊び、クリスマス会、初詣						

事業所名

ことばの発達サポートGLOBALKIDS 2nd

支援プログラム(放課後等デイサービス)

作成日

令和8年

4月

27日

法人(事業所)理念		子どもたちを通して、地域に貢献!みんなと笑顔で過ごす						
支援方針		子どもたちの気持ちを受け止め、「ほめて・みとめて・はげまして」						
営業時間		15時	30分から	17時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支援内容						
本人支援	健康・生活	構造化による生活環境/健康状態の維持・改善/生活習慣や生活リズムの形成/基本的生活スキル獲得						
	運動・感覚	姿勢と運動・動作の基本的技能の向上/姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用/身体の移動能力の向上/保有する感覚の活用/感覚の特性への対応						
	認知・行動	感覚や認知の活用/知覚から行動への認知過程の発達/行動障害への予防及び対応等/数量・大小・色などの習得						
	言語 コミュニケーション	言語の活用と形成/指差し、身振り、サイン等の活用/読み書き能力の向上のための支援/言語に特性がある児への配慮						
	人間関係 社会性	集団参加への支援/情緒の安定/他者との関わりの形成/遊びを通じた社会性の発達/自己の理解と行動の調整						
家族支援		子育ての困りごとへの相談援助/アタッチメントの安定/障害の特性に配慮した家庭環境の整備			移行支援	放課後児童クラブ等への移行支援/他事業所・放課後児童クラブ等と併行利用している場合における連携/地域とのつながり取組/ライフステージの切替えを見据えた将来的な移行に向けた準備		
地域支援・地域連携		学校・医療機関等との情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助等の取組み			職員の質の向上	事業所内研修/外部研修・島外出張・施設見学		
主な行事等		夏の水遊び、クリスマス会、初詣						

事業所名

ことばの発達サポートGLOBALKIDS

支援プログラム(保育所等訪問支援)

作成日

令和7年

8月

27日

法人(事業所)理念	子どもたちを通して、地域に貢献!みんなと笑顔で過ごす						
支援方針	子どもたちの気持ちを受け止め、「ほめて・みとめて・はげまして」						
営業時間	8時	30分から	17時	30分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容							
本人支援	健康・生活	構造化による生活環境/健康状態の維持・改善/生活習慣や生活リズムの形成/基本的生活スキル獲得					
	運動・感覚	姿勢と運動・動作の基本的技能の向上/姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用/身体の移動能力の向上/保有する感覚の活用/感覚の特性への対応					
	認知・行動	感覚や認知の活用/知覚から行動への認知過程の発達/行動障害への予防及び対応等/数量・大小・色などの習得					
	言語 コミュニケーション	言語の活用と形成/指差し、身振り、サイン等の活用/読み書き能力の向上のための支援/言語に特性がある児への配慮					
	人間関係 社会性	集団参加への支援/情緒の安定/他者との関わりの形成/遊びを通じた社会性の発達/自己の理解と行動の調整					
家族支援	子育ての困りごとへの相談援助/アタッチメントの安定/障害の特性に配慮した家庭環境の整備			移行支援	地域とのつながり取組/ライフステージの切替えを見据えた将来的な移行に向けた準備		
地域支援・地域連携	学校・医療機関等との情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助等の取り組み			職員の質の向上	事業所内研修/外部研修・島外出張・施設見学		
主な行事等	特になし						

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ことばと発達サポートGLOBALKIDS		公表日		R8 年 2 月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		・玄関で混雑してしまうため改善が必要。 ・時間差で人数調整をしながら混雑を避けている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		・1対1ではなく、3対1の支援でまかなうことができています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		・玄関からの1段が大きいので今後改善が必要	・高さを調整して、落下防止、危険個所の改善。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	・開所後初めての取り組みのため、今後活用していきたい。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			・機会はあるが参加できていない職員がいる場合の周知を考えていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		<input type="radio"/>	・どのようなツールでやりとりするのが最適か考えている段階。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>				

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			・役割分担はできているが、支援の内容に関しては個々で考えている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○		・全員分を毎日行っているのではないが、必要に応じて共有を図っている。 ・1日のあった出来事のみ共有している。	・振り返りは、5分でも時間をつくり共有していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○				
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○				
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○				・情報共有はできている。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			○		・併用利用児の様子を見学、今後回数を増やしていきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。			○		・調整して交流の場を増やしていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○				・お帳面を毎回更新し、子どもその状況をお伝えできる機会を設けている。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。			○		・家族支援を行っているが、頻度を増やし個々での対応を強化していく必要あり。 ・今後は研修も取り入れていきたい。	・書面で日時日程の調整用紙を月1配布する。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○				・家族支援を取り入れているが、家族に合わせて個別対応の機会も増やしていける対応が必要。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	・保護者同士の交流の機会は、まだ設けられていないため、家族のサポートの一貫で取り入れていきたい。	・交流会の場を設け支援の一貫として取り組んでいきたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○	・相談があった際は、施設での見学や相談等に対してきている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○	・SNS等の活用はなかなかできていないが、お帳面や連絡帳、電話等で発信するようにしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	・開所後間もないため、今後行事等を取り入れ地域へも発信が必要。	・定期的に話し合い行事、イベント等を考えていく。
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○		
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		○		
48		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○		
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○	・重要事項で説明し同意を得ているが、今後計画書にも個別に記していく、		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことばと発達サポートGLOBAL KIDS		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 9日		～ 令和8年 2月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 9日		～ 令和8年 2月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	令和8年 2月 9日		～ 令和8年 2月 24日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 専門的な知識に基づいた助言が現場に伝わっている点。 言葉への専門的な関わりや具体的なアドバイスが“助かる”と評価されており、専門性が現場支援にしっかり活かされていることが強みです。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前説明や丁寧な情報共有の実施、訪問前後の説明や関係づくり 	<ul style="list-style-type: none"> より分かりやすく伝える工夫の強化（視覚的な資料、ポイントの整理）
2	<ul style="list-style-type: none"> 園、学校との連携による多面的な理解と事業所での様子を合わせて共有できている点が評価されており、子どもの全体像を捉えた支援ができている点が強みです。 	<ul style="list-style-type: none"> 現場で実践しやすい具体的な助言の提供。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続的なすり合わせとフィードバック機会の充実

3			
---	--	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1			
2			
3			

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和8年

2月

28日

ことばと発達サポートGLOBALKIDS

訪問先施設

20

回収数

15

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	12	3		・最初に説明があったので、連携がとれました。 ・体育等のアドバイスありがたかったです。 ・学校での様子とグローバルでの様子を合わせることで、見えてくるものもあり、ありがたかった。	・訪問支援員の説明や助言、関わりについて概ねお満足頂いていることが伺え、大変ありがたく感じております。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	13	2		・言葉に対しての専門的に伝えてもらい助かります。 ・児童を見守っていただきました。	・引き続きお気づきの点等ございましたらご意見頂けますと幸いです。今後ともよろしくお願ひします。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	15			・編み物のアドバイスもありがたいです。 ・質問にいていないに答えて頂いています。	・温かいご評価していただきありがとうございます。日頃の関わりや助言についてお満足頂けていること大変うれしく感じております。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	11	4		・本人の課題は、まだ解されていませんが、関わり方を利談して共通理解できているので安心しています。 ・本や数料書ががんばって、読もうとする意欲が高まりました。	・現場での実際の様子を踏まえた助言や共有をより丁寧に行ってまいります。
5	事業所からの支援に満足していますか。	13	2		・満足しています。 ・目標に向かってがんばる姿が見られているので満足しています。	・ご満足ともご意見をいただき心より感謝申し上げます。今後とも現場の状況に寄り添いながらより質の高い支援ができるよう努めてまいります。
その他のご意見						
<p>・訪問されて、お気づきの点を教えていただいたりそちらでの様子を教えていただける機会をいただきたいので早めに訪問日を御談々させていただけたらありがたいです。</p> <p>・わかりやすく支援のしかたを教えて頂き、その子への関わり方もわかりました。施設に行っている間、1対1で支援してもらい、本人にとってもとてもよかったと思います。</p> <p>・支援手業所を立ちあげられたばかりなので、課題が、多いと思いますが、情報共有しながら子どもたちの困り感を、少しでも解して頂けたらしく思います。＜保護者の気持ちの受け止め方など園の方でも、今後の課題です。</p>					<p>・私たちと同じ気づきと一緒に「○○しよう」というベクトルであったことが嬉しい。</p> <p>・グローバルKIDSでの取り組みや友達との関係を聞けたり、排泄面などこちらの園で取り組んでいることをすぐに取り入れて下さり、密に連携がとれて良かった。</p>	